

ごみ減量

もったいない MOTTAINAI かわらばん

第 19 号

平成22年5月30日

発行

秋田市環境部環境都市推進課 〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3
電話：866-2943 FAX：863-6683 E-mail：ro-evcp@city.akita.akita.jp
秋田市HP <http://www.city.akita.akita.jp/> くらし → ごみ・リサイクル・環境 → 秋田市環境部HP

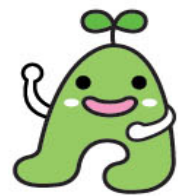
また、家庭ごみと粗大ごみを合わせた処理ごみを排出元別にみると、各家庭から出されたごみが7万1千593トン、事業活動に伴って会社・学校などから出されたごみが4万3千420トンで、処理ごみの約6割が家庭から出されたものでした。

秋田市で、平成21年度の1年間に排出されたごみは、13万3千473トン。市立体育館のメインアリーナ約3・5杯分に相当するごみが出されたこととなります。
内訳は、家庭ごみと粗大ごみを合わせた処理ごみが11万5千13トン（86・2%）リサイクルされる資源化物が1万8千460トン（13・8%）でした。

H21ごみ量報告

減量目標達成に向けて!! 1人1日あと50%減量を

「もったいないかわらばん」もこの第19号から4年目に入ります！
今回は、平成21年度のごみ量についてまとめました。



秋田市ごみ減量キャラクター エコアちゃん

H21ごみ量は？

1人1日あたりのごみ量は？

次に、秋田市民1人あたりのごみ量について考えてみましょう。

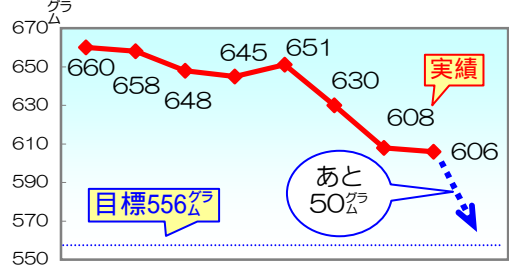
平成21年度に市民1人が排出した処理ごみ（家庭ごみ+粗大ごみ）は平均で1日606グラム。この量は、コンビニのおにぎり約5個分の重さとだいたい同じくらいです。

我が家のごみは平均より多いの？と気になるかたは、集積所に出す前にごみ袋の重さを量ったものと、「606グラム×家族の人数×集積所に出すまでの日数」を計算したものとを比べてみると分かります。

*例：4人家族で収集日が月曜の場合のごみ袋の平均の重さ「606グラム×4人×4日（前回収集日の木曜日）」約9・7キログラム

秋田市のごみは減っているの？

下のグラフは、「1人1日あたりのごみ量」の推移をまとめたものです。



1人1日あたりのごみ量の推移

20年と連続して大幅にごみが減ってきましたが、昨年度は減量の割合がやや少なくなりました。
秋田市では、「1人1日あたりのごみ量」を平成22年度までに556グラム以下にすることを目標にしております。1人1日あたりが最終年度になりました。1人が1日あたり50%減量すれば、目標を達成できます。
50%の目安はバナナの皮1本分！市でも、目標達成に向けて、この「もったいないかわらばん」や減量キャンペーン、出前講座を通じて、より一層減量啓発に努めていきますので、市民のみなさんの減量へのご協力をよろしく願います。

*本紙ではカラー版を掲載しています。秋田市ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/> から「ごみ・リサイクル・環境」へ。

ごみ減量キャンペーン展開中

おじゃましま〜す

6月12日(土) 10:00 ~ 15:00
ジャスコ土崎港店

6月16日(水) 10:00 ~ 12:00
いとく秋田東店(予定)

6月23日(水) 10:00 ~ 12:00
マルダイ八橋店(予定)

6月27日(日) 10:00 ~ 15:00
秋田トヨペット本社中古車展示場

6月29日(火) 10:00 ~ 12:00
マックスバリュ港北店(予定)

7月17日(土) (時間未定)
アルヴェ・きらめき広場



家庭ごみの減量やしじ袋の削減を進めるため、環境イベントや市内のスーパーマーケットなどにおじゃましてごみ減量キャンペーンを展開しています。「エコアちゃん」も登場するかも……? お近くにおいでの際は、ぜひ立ち寄りください。



【展示のようす】

50cmを超えるものは粗大ごみです。
家庭ごみ・資源化物として集積所へは出せません。

- たびたびいただく分別のお問い合わせの中に、「指定袋に入るから集積所に出してもいいの?」という内容のものが多数あります。秋田市では、溶融施設のごみ投入口や収集車の故障の原因となることから、縦・横・高さの一番長いところで50cmを超えるものは粗大ごみ(有料)としています。粗大ごみ専用受付ダイヤルへ電話をして、収集日・料金を確認して下さい。
- ※例外となる代表的なもの
50cm以下でも粗大ごみになるもの→石油ストーブ、除湿機など
50cmを超えても家庭ごみ・資源化物になるもの→かさ、蛍光管など



粗大ごみ専用受付
ダイヤル **839-2002**

知ってる!? ごみ発電のおはなし



秋田市ごみ減量キャラクター
エコアちゃんファミリー

秋田市総合環境センターでは、ごみを燃やした熱で発電を行い、余剰電力を売却しています。

平成22年4月の状況

発電電力量	6,200 MWh
売却電力量	3,231 MWh
売却収入	2,845 万円
売却収入(4月からの累計)	0.28 億円

4月は、売却電力量および売却収入とも過去最高を記録しました。

ごみ発電についてのお問い合わせは総合環境センターまで
電話839-4816